

第 18 回 市民公開セミナー

～最近増えてきた胃腸のアレルギー病～

○森 稚景

愛知学院大学薬学部衛生薬学講座

【概要】

2021 年 7 月 10 日に神戸市で開催された日本毒性学会主催の「第 18 回市民公開セミナー」に参加した。

【内容】

食後に起こる腹痛や下痢、嘔吐などをまとめて「食あたり」と呼んだりする。食あたりの原因は、食材自身に有害物質(毒素など)が含まれている場合や、食材の中で微生物が増えて、その微生物が毒素を産生する場合、食材に付着した微生物が食物と一緒に体内に入り込み腸の中で増えて腸の組織の中に侵入して害をおこす場合などがある。しかしながら、近年これらの原因以外でも食あたりが起こることが多くなり注目されている。

上記のような原因以外でも、食べた物にアレルギー反応を起こせば腹痛や下痢、嘔吐などの症状が起こる。アレルギーとは、体の外から中に入ってくる異物に対して過剰に免疫反応を示すことをいう。免疫とは体の中に細菌などの異物が侵入した時に、侵入した細菌などを殺すために働き、病気を起こす微生物から体を守ってくれる。人間は食べ物として摂取した卵や牛乳のタンパク質が体の免疫には反応されないように調節されているが、この調節がうまくいかず

に卵や牛乳などの食物の一部にも免疫が強く反応してしまうのがアレルギーである。

食物アレルギーは子供に多い病気だと考えられてきたが、最近では成人や高齢者にも起こることがわかってきた。一般的な食物アレルギーは原因食材を食べて 1 時間以内に腹痛や下痢などの症状が現れるが、中には原因食材を食べてから 1-2 週間してから症状が現れる食物アレルギーもあることがわかってきた。

食あたりを起こさないようにするためには、新鮮な食材を選び、よく熱を加えて調理することが大切である。さらに、食あたりと思える腹痛や下痢、嘔吐を度々経験した時は食物アレルギーである可能性に気づき医師に相談することが大切である。

【感想】

原因が食物アレルギーであることがわかって、それが遅発性であった場合に自己で原因を判明させることはとても難しいと思いました。

私は以前にパパイアで口腔内が腫れてしまったことがあります。それ以前に何度もパパイアを食べたことはありましたが口腔内は腫れませんでした。その違いは、パパイアと一緒にアルコールを摂取していたかどうかではないかと考えています。この

パパイヤでのアレルギー症状の発現では、アルコールの摂取によってアレルギー症状が強く出てしまったと考えていますが、原因食物と他の食べ物との食べ合わせや飲み合わせなど、その時の状況によってアレルギー症状の出方は色々変わってくると思われました。

健康長寿を考える上で、普段何気なく口にする食べ物が実は自分に悪影響を及ぼしている可能性があることを認識することができました。

最後になりましたが、援助して下さった愛知学院大学薬学会に感謝申し上げます。

主催：一般社団法人 日本毒理学学会
後援：神戸市

第18回市民公開セミナー
健康長寿を考える
— その病気、見逃していませんか? —

2021年
7月10日(土)
14:00 ~ 15:30 (開場 13:30)

会場 神戸芸術センター TEL: 078-241-7477 (観音堂付)

入場無料
《参加申込：不要》
※当日前夜会場にお越し下さい

プログラム

司会
堀井 英夫 [Accolead Drug Discovery Partners 株式会社]

講演1
「高齢者の目の病気」
西田 幸二 [大阪大学大学院医学系研究科 脳神経感覚器外科 (眼科) 主任教授]

講演2
「最近増えてきた胃腸のアレルギー病」
木下 芳一 [姫路徳島医療センター 院長・製鉄記念広島病院 病院長
はりま総合総合医療センター 整備推進機構 理事長]

1. 会場ではマスクを着用するよう強くお願いし、会場には感染症予防の消毒をお願いしております。会場、会場と併催のすぐそばに消毒液の dispensing があります。
2. 公開講座は、日本薬理学会神戸支部(主催)の対象となります。なお、受講料は無料です。ただし、当日の受付料がかかります。

お問い合わせ先 第48回日本毒理学学会周年会 専攻事務局
〒221-0212 神奈川県横浜市磯区二丁目2番2号 1F Accolead Drug Discovery Partners 株式会社
事務部長：大塚 博比呂 事務局次長：吉田 健真・林 良太 E-mail: secretariat@jpcot2021.jp